



発行日 / 2015年(平成27年)11月15日 発行 / 羽生市議会 編集 / 議会だより編集委員会



## 「空飛ぶ救命室」ドクターヘリ登場

9月4日(金)井泉小学校で  
ドクターヘリ学校体験会が  
開催されました。

### 会議のあらまし (9月定例市議会)

- ・9月1日(本会議第1日)  
開会の後、会期について議会運営委員長から報告があり、9月28日までの28日間と決定。諸般の報告の後、議案第52号が上程され、提案説明を受け、質疑、討論、採決を行う。  
続いて議案第44号から同第51号まで及び同第53号から同第59号までの15議案が上程され、提案説明を受け散会。
- ・9月2日(7日)  
議案調査等のため休会
- ・9月8日(本会議第2日)  
議案第44号から同第51号まで及び同第53号から同第59号までの15議案に対する質疑の後、議案を各常任委員会に付託し散会
- ・9月9日(本会議第3日)  
市政に対する一般質問(4人)を行い散会
- ・9月10日(本会議第4日)  
市政に対する一般質問(4人)を行い散会
- ・9月11日(本会議第5日)  
市政に対する一般質問(3人)を行い散会
- ・9月12日、13日  
休日のため休会
- ・9月14日(17日)  
付託議案の審査のため、各常任委員会を開催
- ・9月18日(27日)  
各常任委員会事務整理等のため休会
- ・9月28日(本会議第6日)  
付託議案について各常任委員長から審査報告があり、質疑、討論、採決を行う。  
続いて、議員から議案1件が上程され、採決を行う。  
続いて、市長から追加議案5件が上程され、質疑、採決を行う。  
続いて、羽生市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行う。  
続いて、埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を行う。  
最後に、閉会中の特定事件の委員会付託を行い閉会

# 市政に 対する

# 一般質問

## そこが… 聞きたい



一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。今期定例会では、9月9日、10日、11日の3日間にわたり11人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

## 市内の道路整備について

保泉 和正 議員

・質問 次の点について伺う。

- ① J A ほか大きい北支店前の交差点から南方に向かう市道0118号線の幅員道路整備計画の継続について
- ② 県道、市道、生活道路の区分の定義及び整備管理等について
- ③ 工事が中断している道路について事故が起きる前に完成させるべきと考えるが、その見解について
- ④ 財源を確保してでも道路は整備すべきと考えるが、その見解について

・答弁 (まちづくり部長)

① 用地の協力などの条件が整えば、事業再開の検討をしていきたいと考えている。事業休止から相当の時間が経過し



事業休止中の市道0118号線

ているので、改めて地元自治会長と相談し用地交渉の方法を含め検討して行きたい。

② 道路法上、道路は高速自動車国道、一般国道、都道府県及び市町村道の4種類に区分

されている。市道は、幹線1級道路、同2級道路、その他道路に分けられ、その他道路とはいわゆる生活道路である。市道整備については、1、2級道路は行政責任道路として、生活道路は地区要望道路として整備の順位を地域に委ねて市が実施をしているものである。

③ 平成23年12月議会の答弁では、道路工事中断後に地権者の理解がいただけた場合や用地取得が可能となった場合で、かつ緊急性や優先度が高い路線については、工事再開が可能であるとしており、これは、現在でも同じ考えである。

④ 民生費の増大に伴い、自治体経営が圧迫されており、道路整備などへの予算配分を抑制せざるを得ない状況となっている。しかし、ここ数年は道路新設改良費も予算を増やしており、平成25年度と27年度を比較すると1億円以上増額している。このような状況の中、国の交付金を活用するなど財源確保に努めていきたい。

### その他の質問

・教育委員会制度改革について

議会の詳細は  
市議会会議録  
をどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年4回開催される定例会ごとに、本会議で行われた一般質問や議案質疑の主な内容、答弁などをお知らせしています。詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、市議会が発行している「羽生市議会会議録」をご覧ください。

前会までの会議録は、市立図書館、各地区公民館、市議会図書室(市役所4階)に備え付けてあります。

また、市議会会議録は、市のホームページでも閲覧できます。平成8年以降の会議録がご覧になれますので、是非ご利用ください。

# 地方公会計の

## 整備促進について

齊藤 隆 議員

・質問 ①国では、統一的な基準による財務書類等を原則として平成27年度から29年度までの3年間で全ての地方公共団体において作成することとしている。羽生市においても統一的な基準による地方公会計を実施すべきと考えるが具体的な計画を伺う。

②統一的な基準による地方公会計を実施していくためには職員の育成が重要と考えるが職員研修の具体的な計画を伺う。

・答弁 (企画財務部長)

①今年度中に固定資産台帳の整備を行い、保有資産の評価等を把握する。平成28年度は、現金主義単式簿記により作成

している現行の決算データを発生主義複式簿記のデータに変換する。併せて、新たに整備した固定資産台帳から抽出する資産情報を連動させた財務システムを整備する予定である。そして、平成27年度決算分から新しい基準による財務書類等を作成することになっている。

②発生主義複式簿記を採用することでコスト情報が正確に把握され、単式簿記では見えにくい資産、負債などのストック情報も明確になる。担当



業務のコストがどの位かかっているのか、資産の減価償却額を把握することで建物の劣

化の進行など、分析を進めれば見えてくるものがあるため、そのような点を意識するよう職員に対し研修をしていきたいと考えている。また、指導的立場となる財政課、会計課の職員については、自治大学や市町村アカデミー等での専門研修に参加させ、知識の向上を図ることも必要と考えている。

### その他の質問

・羽生都市計画下水道事業の公営企業会計の導入について

# 無料学習会への 取組みについて

野中 一城 議員

・質問 近年、教育の格差が叫ばれている。富の格差が教育の格差となっており、教育における負のスパイラルが大きな社会問題となっている。茨城県行方市では、子どもたちの学力向上を目指す無料学習会が開催されている。その中から子どもたちの学習意

欲の高まり、勉強に対する積極性も生まれてくると考えており、羽生市においてもこのような学習環境を整備する無料学習会が設置できないか、見解について伺う。

・答弁 (学校教育部長)

文部科学省では、子供の貧困対策の総合的な推進事業と

して経済的支援、学習支援などの充実を図り、貧困の世代間連鎖を断ち切り、将来を支える人材の育成を推進している。しかしながら、経済面の影響から基本的な生活習慣が



確立せず、生活の乱れが学習の遅れに結びついていることが多いという現状がある。

そこで、羽生市教育委員会では、学習が遅れている子どもたちの学習機会を保障し、子どもたちが安心して学習する環境を整備する必要があると考えている。羽生市においても平成28年度より小学校4年生から6年生の児童を対象にした無料で通える「学力アップ羽生塾」の開設を検討しているところである。学習内容としては、学校の宿題、国語

と算数を中心に予習や復習などの学習支援を進めたいと考えている。また、講師には元教員を、場所については学校以外の公共施設を検討している。

本事業を通して家庭はもちろん地域の方の協力を得て、子どもたちの学ぶ意欲を支え、将来にわたって自立する力を育んでいきたいと考えている。

### その他の質問

・プレミアム商品券発行について

# 清水卯三郎生誕の地の

## 看板設置について

本田 裕 議員

・質問 1829年羽生で生まれ、幕末から明治にかけて日本文化発展に先駆けの功績を残した、歴史に隠された大商人「清水卯三郎」に光を当ててあげたいという考えから、次の点について伺う。

①清水卯三郎の羽生市にとっての歴史的意義、今まで市が

行なってきた取組み、今後さらに顕彰するための取組みについて

②歩道橋を活用し国道沿い、または、市内の適した場への「清水卯三郎生誕の地」の看板設置の考えについて

・答弁 (経済環境部長)

①日本を良くするために奮闘

した人物を輩出したということとは、大変誇らしいことであり、羽生にそのような人物がいたという事実が歴史的意義であると考えている。

今までの取組みについては、

無縁仏のような状態になっていた卯三郎の墓を世田谷区から清水家の菩提寺である北二丁目の正光寺に改葬したり、市民プラザ前に胸像を建立したり、生家があった中央四丁目に生誕の地としての案内板を設置したりしたところである。また、今後の取組みにつ



市民プラザ前の胸像

いては、県職員の今井博昭さんにより「歴史に隠れた大商人 清水卯三郎」が出版されたのを機会に図書館・郷土資料館主催で今年12月に講演会を開催する予定となっている。加えて井泉小学校を中心に清水卯三郎を取り上げた郷土教材集を作成しているところである。

②看板設置については、名前から知ってもらおう良いアイデアであり、道路管理者などと協議し、時期なども含めて今後、検討していきたい。

その他の質問  
・羽生市における文化財保全について

# 「残薬解消」による医療費の抑制について

中島 直樹 議員

・質問 多くの自治体が健康増進施策、疾病予防施策に取り組んでいるが、目に見える効果は表れていない。そこで近年、処方された薬の飲み残し、飲み忘れによる残薬の問題が大きく取りだたされている。

福岡市では、薬剤師会が中心となり、膨張する医療費を

抑制するため、医師の治療計画に基づいた治療を推進するため、「節薬バッグ運動」が盛んに行われている。

羽生市においても、残薬を解消するため、関係機関に働きかけるとともに、市民に啓発をすべきと考えるが、見解を伺う。



・答弁 (市民福祉部長)  
医師により処方された薬を

飲み残し、または飲み忘れ、放置したままとなっている残薬の問題は、市としても本人の健康や医療費抑制のため懸念をしているところである。特に高齢者の場合、処方されている薬の種類が多いほど残薬の傾向が高く、平成26年度に埼玉県と埼玉県薬剤師会が調査をしたところ、全体の65%の高齢者が残薬を所有しており、少ない方で3種類、多い方においては15種類にも及ぶという結果が出ている。

市としては、残薬の解消に

向けて啓発を進めるとともに介護サービスを受けている高齢者に対しては、定期的に居宅を訪問するケアマネージャーやホームヘルパーに服薬や残薬の確認をお願いするよう調整して行きたい。今後とも、関係機関と連携し、市民の健康を守りつつ、医療費の削減に努めていきたいと考えている。

その他の質問  
・18歳選挙権の対応について  
・屋外看板の落下等の危険防止について

# 国道122号線及び125号線須影2号アンダーパスの活用について

阿部 義治 議員

・質問 須影2号アンダーパス西側市道は、かなり前に整備され利用されている。一方、東側は須影公民館西側の市道まで用地買収が完了しているが、その後全く整備が進まずに放置されている。

①公民館西側市道完成時の利用計画について  
②買収済用地の状況、幅員・距離・買収時期等について  
③放置されている道路計画用地の今後の活用について  
・答弁 (まちづくり部長)  
①須影2号アンダーパスを含む市道は、市内東西方向の幹

線道路としての位置づけがあり、東側は県道南羽生停車場線と結ぶ計画である。また、西側は上川崎地内で別の幹線道路に接続することにより、新郷、岩瀬、須影、手子林間を結ぶ幹線道路としての役割を有する道路として計画されたものである。  
②アンダーパスから公民館わきの南北道路までは平成13年度に用地を取得済で、延長160メートル、幅員12メートルとなつている。そこから県道南羽生停車場線までの残



須影2号アンダーパス東側

りの未買収区間についての延長は420メートルとなっている。  
③公民館わきまでの160メ

ートルの区間については、平成28年度に暫定的な整備をし、歩行者や自転車が通行できるようにしたいと考えている。そこから南羽生停車場線までの延伸については、地権者の意見を聞きながら、理解をいただければ、測量や設計などを行い、工事着手に向けて準備を進めていきたいと考えている。

### その他の質問

・退職消防職員の有効活用について

# 水害対策について

峯寄 貴生 議員

・質問 次の点について伺う。  
①本年7月16日、台風11号の豪雨の影響による、道路冠水箇所を迂回するため、市内で大変な交通渋滞が発生した。防災情報の提供による交通渋滞緩和に関する見解と今後の対応について  
②地震や洪水などの自然災害

発生時に、必ずしも避難所の施設が使えらるゝとは限らない。避難所に指定されている場所や公園などに関し、自助力・共助力向上のための防災器具や防災機能付き遊具を設置してはどうか。また防災力向上に関する見解と今後の対応について



冠水による通行止 (東6丁目)

・答弁 (①総務部長、②まちづくり部長)  
①LINEや市ホームページを利用した交通規制箇所の情報提供は、渋滞回避策として有効な手段と認識している。

行田県土整備事務所への確認では、今回は日本道路交通情報センターへ情報提供を行わなかったとの回答であった。市としては、市民の生命、身体及び財産を保護すること

スなどの都市機能が停止することもあることから、公園の避難場所として防災機能の向上を図っていく必要がある。このため防災かまどベンチや災害用マンホールトイレ、ソーラー式照明灯などの配備を進められるよう、県など関係機関と調整を図りながら計画策定を行っている。今後は、防災機能を有した遊具の設置を進め防災力の向上を図るとともに、通常の遊具の充実も図りながら、多くの市民に利用される公園整備に努めたい。

を最優先としたうえで、災害時の情報発信の方法や交通渋滞緩和の方策について調査、研究を行うとともに、県にも速やかな情報提供を引き続き要望していく考えである。  
②想定外の災害が発生した場合、市街地における大規模な火災の発生や水道・電気・ガ

# 埼玉純真短期大学との

## 連携について

永沼 正人 議員

・質問 次の点について伺う。

- ①市及び市教育委員会等と埼玉純真短期大学との連携の現状について、また連携を拡大する計画はあるのか。
- ②埼玉純真短期大学における看護科新設に関し、進捗状況及び羽生総合病院との連携、市のバックアップについて
- ③埼玉純真短期大学卒業生の羽生市への定住促進策に関し羽生総合病院、市内保育園・幼稚園やその他事業所などへの就職・就業支援体制の構築等に関する見解について
- ・答弁 ①学校教育部長、②企画財務部長
- ①埼玉純真短期大学との連携

については、羽生市学びあい夢プロジェクト事業において小学生を対象に大学教授が授業を行う「子ども大学はにゅう」のほか、一日留学、学生ボランティアによる小学生宿泊合宿など様々な事業がある。

昨年、市と埼玉純真短期大学との地域連携協力に関する協定が結ばれ、今後子どもたちの健全育成のため、さらに連携を充実していきたい。

②埼玉純真短期大学において、看護科の新設又は、新たに看護専門学校を開設することの



「子ども大学はにゅう」のようす

検討を始めているとのことであり、本格化した際に大学と羽生総合病院との連携について市がどのような支援・協力できるか考えていきたい。

③大学卒業生で市内事業所に

就職し、かつ市内に定住している市外出身者の方はおり、大学でも地域との交流を大切にする教育を実践しており、市行事等へのボランティア活動の参加も盛んである。こうした活動を支える協力を今後とも継続し、羽生市への定住につなげていきたい。

### その他の質問

・羽生市における基金の運用について

・薬局等との連携による糖尿病の早期発見・治療について

# 献血の推進について

島村 勉 議員

・質問 次の点について伺う。

- ①献血の重要性についてどのような認識を持っているのか。
- ②市民へ普及、啓発について
- ③市内での献血活動に対する行政の協力体制について
- ④市主催のイベントや市が関与するイベントにおける献血活動への支援、協力について
- ⑤若者が献血しやすい環境づくりの取組みについて
- ⑥市職員に対する献血への理解、協力について
- ・答弁 ①市民福祉部長、総務部長、企画財務部長、経済環境部長、②⑤市民福祉部長、③企画財務部長、市民福祉部長、④経済環境部長、⑥総務

部長)

①血液は長期間保存や人工的に造ることもできず、けがや病気などで血液を必要としている方の尊い命を救うために必要なものであり、血液を安



定的に供給していくために、献血が果たす役割は大変重要なものであると考えている。

②啓発用ポスターの掲示、ホームページへの掲載及びリーフレットを活用し、献血の推進に努めている。

③市庁舎での献血については、長年に渡り年2回実施していた。平成25・26年度は庁舎耐震改修工事等のため、安全面を考慮し行わなかったが、今後とも出来る限りの協力をしていきたい。また関係機関と連携協力しながら普及・啓発活

動に取り組んでいきたい。

④市主催イベント等での献血の依頼はないが、相談があった際には積極的に協力したい。

⑤平成25年度より新成人に対し啓発用リーフレットとポールペンを配布し、献血の協力を呼び掛けている。

⑥市庁舎での献血では40人程度の職員が協力しており、重要性について十分認識していると考えている。また職員が献血に要する時間を特別休暇としており、職員が献血しやすい体制を整備している。

# 児童館の新設について

柳沢 暁 議員

・質問 日本共産党羽生市委員会が行ったアンケートには「児童館を造ってほしい」といった児童館の新設を求める声が多数寄せられている。

平成27年1月の羽生市人口減少問題対策プロジェクトチームによる提言書には、「公立保育所の統廃合と児童館複

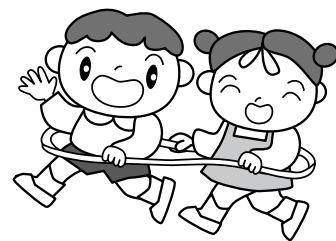
合施設の創設」が挙げられており、「児童館では親子が自由に遊んだり、子どもを遊ばせながら育児相談、就職相談を受けられるような窓口を開設する。」と記載がある。そこで次の点について伺う。

① 検討状況と見解について  
② 新設する予定について

・答弁 (市民福祉部長)

① 児童館は、次代を担う子どもたちが夢と希望を持てる居場所や子育て保護者の交流の場として価値のあるものと考えるが、児童保育室の整備や待機児童を生み出さない保育環境の整備、子ども医療費の助成などを優先的に取組んでいるため、限られた予算の中では、新設による児童館の整備は困難な状況にある。

そのため、児童館に代わるものとして、市民プラザ内に親子が気軽に集える「子育て



サロン」を設置し、保育者たちの交流の場を提供するとともに、市内4箇所に「地域子育て支援センター」を設置し、就学前の子どもと保護者が自由に遊び交流できる場を提供

している。

② 児童館の新設は、現在のところ困難な状況にあるが、子どもの健やかな成長を育む環境づくりは、人口減少の抑制や活力ある社会を目指すうえで重要であると認識している。

今後、羽生市にふさわしい子育てに関する施策を、羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中に示していきたい。

その他の質問

・高い国民健康保険税の引下げについて

# ムジナモ自生地と堀上田について

奥沢和明 議員

・質問 次の点について伺う。

① ムジナモ自生地の現状について及び、自生地の緊急調査の結果等について

② 平成23年12月定例市議会の一一般質問において提案をした、ムジナモ自生地内の堀上田の実施に関し、その後どのような検討をしたのか。

③ 自生地の周りを散策、見学できる遊歩道等、ムジナモ自生地外環の環境整備について、検討が進んでいるのか。

④ 世界キャラクターさみっとin羽生等を活用したムジナモ自生地のPRについて

・答弁 (生涯学習部長)

① ムジナモの生育について



宝蔵寺沼ムジナモ自生地

は、今年6月の時点で、約3,700株と昨年の約10倍近い株数であった。

その後、8月1日の再調査では、約9,000株が確認され、このうち越冬して生

育を続けているものが約5,000株となっており、自生地の状況は大変良好な状態で、回復傾向にある。

② 昨年8月の検討委員会において、ムジナモ保存会会員の方から、ムジナモの増殖と増水時の流失を防ぐことを目的に、堀上田の復元について提案があったが、結論に至らなかった。

残したことで流失を防ぐことができたことから、提案の目的を達成できたと考えている。

③ 今年7月に開催された県と地元、市との意見交換会において、歩道の整備や展望台の設置などの意見が出され、県に提案を行った。

④ 世界キャラクターさみっとin羽生の会場に展示ブースを設け、水槽に入れたムジナモやムジナモ開花状況の写真パネルなどを展示するとともに、宝蔵寺沼が自生地であることをPRしていきたい。

ムジナモの増殖については現在良好な状態であること、また流失防止については、クリーク沿いのヨシを意図的に

残したことで流失を防ぐことができたことから、提案の目的を達成できたと考えている。

# 議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めめるものです。今期定例会では、次の議員によって行われました。

## 斉藤 隆 議員

○議案第44号 平成26年度羽生市一般会計歳入歳出決算

・質疑 清和園の指定管理者制度の導入による運営上の効果について伺いたい。

・答弁 (市民福祉部長)

清和園は、社会福祉法人さきたま会が指定管理者となつている。運営上の効果としては、指定管理者のこれまでの老人福祉に関する管理運営の実績を活かし、看護師・栄養士及び介護福祉士の資格を有する職員を配置し、入居者への心身両面へのサポート、生活環境の整備など、きめ細やかなサービスにより、従前にも増して処遇や安全面が向上していると考えられる。指定管理者が入所者を実施したアンケートによると、職員の対

利用に与える影響

③平成28年度から30年度までの各年度の工事費用

④今後の国庫補助金の見通し

・答弁 (まちづくり部長)

①設計及び工事は、国庫補助金を活用し実施すべく要望していたが、交付額が大幅に減額された。その理由は、各市町村からの要望額がこれまでに比べ特に多かったため、各市町村への配分が厳しいものとなったためである。

②国庫補助金の減額に伴い、下水道施設の安全な運営管理に支障がないよう計画の見直しを行ったため影響はない。

③平成28年度3億9,140万円、平成29年度4億5,200万円、平成30年度6億6,060万円を計画している。

④国庫補助金は、他の市町村の要望状況などにに基づき、配分されるが、市としては、国に対し、事業の必要性をしっかりと説明し、予算確保に努めていきたい。

## その他の質問

・議案第45号

## 保泉 和正 議員

○議案第44号 平成26年度羽生市一般会計歳入歳出決算

・質疑 土木費について、前年度と比較し、増額している部分の詳細について伺いたい。

・答弁 (まちづくり部長)

増額となった主な要因としては、道路新設改良費と都市計画総務費中の企業誘致対策事業の増額執行があげられる。道路改良費では、通学路整備事業を4路線で実施した。具体的な整備箇所は、1

路線目が、東中学校から手子林小学校を結ぶ南北の道路、2路線目は、文化通り西中学校から西側の区域、3路線目は、南中学校の正門前、4路線目が、南中学校の通学路の東武鉄道との踏切前後の部分である。

また、地区要望工事費では、

1地区当たりの事業費について、これまで300万円程度を上限としていたものを500万円程度まで増額し、平成26年度は、30地区の整備を実施した。次に、企業誘致対策事業では、羽生市企業立地促進条例に基づき、工場を新設するにあたり、必要と認められる道路整備を実施した企業に奨励金を交付したものである。

## 野中 一城 議員

○議案第53号 平成27年度羽生市一般会計補正予算(第3号)

・質疑 固定資産台帳の整備について次の点を伺う。

①着手から完了までの計画

②委託に係る留意点

・答弁 (企画財務部長)

①10月中に入札を行い、委託業者を決定する予定である。

その後、各部署で管理しているデータを引き渡すとともに不足するデータの調整、例えば、土地の評価額の積算などを行い、来年の3月までに整備を完了する予定である。

②今回の業務は、市が保有する土地や建物、道路、橋梁、





水路、公園、備品など約9,000件についてのデータを整理し、1件ごとに取得年月日、取得価格、耐用年数、減価却累計額など約50項目のデータを国から指定されたソフトウェアへ落としこんでいくことが主な作業になる。そのため、委託業者と定期的打ち合わせを持ち、進捗状況を随時確認し、入力項目等の認識が正確であるかなど、遺漏ないよう進めて行きたいと考えている。

その他の質問

・議案第44号、第47号

中島直樹 議員

○議案44号 平成26年度羽生市一般会計歳入歳出決算

・質疑 学校図書館システムを導入したことによる効果と実績について伺いたい。

・答弁(学校教育部長)

効果については、主にバーコード読み取りによる、貸し出し及び返却作業の効率化、図書台帳の電子化による蔵書点検の負担軽減、貸し出しデータを活用した図書の選定や

読書指導などがあげられる。

また、他校の蔵書の検索ができるため、学校間での本の貸し借りが可能となっている。さらに、システム導入と同時に期から学校司書を雇用し、先生方と協力し、このシステムを活用した図書館運営を行った結果、読書活動が活発になっている。実績は、貸し出し、返却時の作業時間の短縮により、授業時での利用や休み時間の貸し出し数が増えた。システム導入前後の貸し出し状況については、導入前の状況が正確にデータ管理できていないため、比較できていない。今後は、これらのデータの有効活用を図り、学校図書館の利用率向上につなげていきたいと考えている。

その他の質問

・議案第48号、第53号

柳沢 暁 議員

○議案第44号 平成26年度羽生市一般会計歳入歳出決算

・質疑 市民生活課窓口業務委託における効果と実績について伺う。

・答弁(市民福祉部長)  
経費面では、業務委託前の人件費5カ年の平均額と委託後の平成26年度の人件費プラス業務委託料を比較すると、ほぼ同額となっている。これは、東日本大震災を受けての職員給与の減額が影響していると思われる。



市民生活課窓口

効果については、転入・転出などによる繁忙期であっても窓口人員が充実しており、お客様の待ち時間を短縮することができ、サービスの質を落とさず対応できている。

また、委託により、民間企業のノウハウが活かされた効果的かつ効果的なサービスが提供できていると考えている。

一方、市職員は、専門性を必要とする事務に従事しているが、窓口委託により集中して事務に取り組む込むことができ、今まで以上に、正確か

つ丁寧な市民の多様な要望に柔軟に対応することが可能となっている。

峯崎 貴生 議員

○議案第53号 平成27年度羽生市一般会計補正予算(第3号)

・質疑 調整池基礎調査等委託料について詳細を伺う。

・答弁(まちづくり部長)

近年増加している、台風など集中豪雨による浸水被害に対し、対応策を検討するため、雨水浸水対策検討業務の作業を進めている。この作業の中で、浸水被害の軽減を図るための対応策のひとつとして、調整池の設置は必須であるとの結論に至った。現在、どこに調整池を設置すれば、どの程度被害の軽減効果があらわれるか検討作業を進めており、対象地の絞り込みを行っているところである。調査業務を発注することにより、調整池の構造などの検討や概算事業費の積算など、基礎的な調査に着手したいと考えている。具体的には、調整池の雨水の流入、排出の位置及び方法、池の深さや大きさ、構造、形式

などの予備設計を実施する。この調査により、調整池設置に向け具体化を図り、浸水被害の軽減に努めてまいりたい。

永沼 正人 議員

○議案第53号 平成27年度羽生市一般会計補正予算(第3号)

・質疑 CSPTレーナー養成講座について次の点を伺う。

①言葉の意味、内容の理解度  
②怒鳴らない子育ての考え方  
③対象者、対象人数、養成期間及び講座の委託先  
④トレーナー養成後の子育て支援計画

・答弁(市民福祉部長)

①CSPTとは、被虐待児の保護者支援プログラムで、コミュニケーション・ペアレンティングの通称である。受講者からは、分かりやすく、自信を持ち、子どもに接することができるようになったと好評を得ている。

②怒鳴ることと叱ることは、別物であり、怒鳴ることを減らし、適切に叱ることが重要と考えている。

③市内全保育園と幼稚園の職員75名を対象とし、連続して

3日間の養成期間で、株式会社ライフデザイン総合研究所を委託先に予定している。

④市内保育園、幼稚園でCSPが学べることを周知し、子育て支援の充実を図りたい。

### 藍染議会を開催

市では「地域団体商標」に登録されている「武州正藍染」を広くPRし、地場産業の発展と藍のまち、衣料のまちとして、市の知名度アップを図るため、職員が毎週月曜日に藍染シャツを着用する「藍染マンデー」を実施しました。



市議会でも、昨年に続き9月定例会を「藍染議会」と命名し、7年目を迎えました。本会議に出席する議員と職員が初日及び最終日に「藍染シ

ャツ」を着用し、審議を行いました。

### 副市長の任命に同意

齋藤淳氏が9月28日をもって副市長を退職するため、後任として市長から、三枝孝之氏を選任したいとして同意を求められました。議会は投票の結果、適任と認め同意しました。なお、三枝氏は9月29日付で市長から副市長に選任されました。

### 教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員のうち石井康三氏の任期が10月4日をもって満了となるため、柿沼拓弥氏を新たに任命したいとして、市長から同意を求められました。

### 人権擁護委員候補者の推薦に同意

市議会では、投票の結果、適任と認め同意いたしました。人権擁護委員の笈川國子氏、高橋菊枝氏、春山教子氏の任期が12月31日をもって満了となるため、新たに齋藤さ

よみ氏、齋藤みち子氏、梅田法恵氏を推薦したいとして、市長から意見を求められました。市議会では、三氏を適任と認め同意いたしました。

### 地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書を国へ提出

全国の自治体が平成27年度中に策定する「地方版総合戦略」の策定を推進するとともに、国は地方財政措置における「まち・ひと・しごと創生事業費」や平成28年度に創設される新型交付金など、今後5年間にわたる継続的な支援とその財源確保を行うことが重要となる。

このような考えのもと、9月定例会最終日に5名の議員による議員提出議案として、「地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書」が上程されました。提出者からの提案理由説明の後、採決が行われ、賛成全員で可決されました。

本意見書は、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、地方創生担当大臣に提出しました。

## 12月定例市議会のご案内

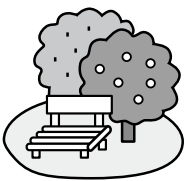
12月定例市議会は、左記のような日程で予定されています。

月日	曜日	時刻	内容
11月26日	木	午前9時30分	本会議初日(開会)
11月27日	金		
12月2日	水		議案調査等のため休会
12月3日	木	午前9時30分	本会議(議案に対する質疑)
12月4日	金	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
12月5日	土		本会議(市政に対する一般質問)
12月6日	日		休日のため休会
12月7日	月	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
12月8日	火	午前9時30分	各常任委員会
12月9日	水		事務整理等のため休会
12月13日	日		本会議最終日(閉会)
12月14日	月	午前9時30分	本会議最終日(閉会)

※12月定例市議会の日程は、11月24日(火)に開催予定の議会運営委員会が正式に決まりますので、変更になる場合もあります。

### ボートレース戸田

県内15市で構成する都市競艇組合の収益金の一部は、毎年構成各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。



#### 開催日

月	火	水	木	金	土	日
					11月14日	15
					BOATBoyCUP	21
16	17	18	19	20		22
BOATBoyCUP						

月	火	水	木	金	土	日
					12月26日	27
					ゴールドテイルスポーツ杯	
28	29	30	31			
第34回ゴールドテイルスポーツ杯						

※埼玉県都市競艇組合主催のみ掲載しております。

# 9月定例会 審議案件とその結果

## ●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

薫風会…薫風 拓政会…拓政 公明党…公明 日本共産党…共産 無党派…無派 【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠】

議案番号	議案名	薫風					拓政		公明		共産		無派		審議結果
		本田裕	峯寄貴生	永沼正人	奥沢和明	根岸義男	松本敏夫	丑久保恒行	島村勉	保泉和正	野中一城	斉藤隆	柳沢暁	阿部義治	

### 議員提出議案

議第2号	地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
------	---------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

### 市長提出議案

第44号	平成26年度羽生市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	×	認定
第45号	平成26年度羽生市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
第46号	平成26年度羽生都市計画下水道事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
第47号	平成26年度羽生市中小企業従業員退職金等共済事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第48号	平成26年度羽生市住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
第49号	平成26年度羽生市介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
第50号	平成26年度羽生市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
第51号	平成26年度羽生市水道事業会計利益の処分及び決算	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	認定
第52号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度羽生市一般会計補正予算（第2号））	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第53号	平成27年度羽生市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第54号	平成27年度羽生市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第55号	平成27年度羽生都市計画下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第56号	羽生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
第57号	羽生市個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
第58号	羽生市事務手数料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
第59号	羽生市公共下水道根幹施設の改築更新工事委託に関する基本協定の締結について	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第60号	副市長の選任につき同意を求めることについて	※注1					-	※注1					同意			
第61号	羽生市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	※注2					-	退	※注2					同意		
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（1）	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（2）	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（3）	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

※議長は採決に加わりません。 ※注1 投票結果 賛成10票：反対3票 ※注2 投票結果 賛成6票：反対6票 可否同数により議長裁決



本会議を傍聴するようす

傍聴について

羽生市議会では、本会議の傍聴を実施しております。市役所5階で受付をしていただければ、どなたでも傍聴できます。（一般席48席）

また、常任委員会の傍聴（6席）も実施しておりますので、開催日等をご確認のうえ、お気軽におこしください。

常任委員会は午前9時30分に開会いたしますので、傍聴を希望される方は開会前におこしください。

なお、開会後の入退室は休憩中をお願いいたします。

詳しくは、市のホームページをご覧ください。また、議会事務局にお問い合わせください。

☎ 048(561)1121  
(内線) 5131

# 各常任委員会の経過

## 総務文教委員会

委員会に付託された案件は、議案6件でした。

平成26年度羽生市一般会計歳入歳出決算の審査では、衛生費において「防犯カメラ機器借上料について、防犯カメラの設置場所及び台数について伺いたい。」との質疑に対して「市が設置している防犯カメラについては、現在羽生駅自由通路周辺に15台を設置しているほか、施設管理の目的から市内公共施設の一部に設置している。道路等への設置は今のところなく、防犯上の観点から今後の課題と考えている。」との答弁がありました。

次に、平成27年度羽生市一般会計補正予算第3号の審査では、教育費に關し「フューチャースクール研究事業

業について、今回対象の3小学校以外への、タブレット端末の導入はどう考えているのか。また、インターネット犯罪に児童・生徒が巻き込まれることが懸念されるが、学校の対応について伺いたい。」との質疑に対して「現在、タブレット端末の導入は、今年度までに小学校3校、中学校3校が完了しており、導入が済んでいない残りの小学校については、できるだけ早期に導入できるように考えている。また、学校にあるタブレット端末及び、パソコンについては、有害な情報が入りこまないよう、厳しいセキュリティ



審査結果を報告する永沼委員長

ティー基準で対応している。」との答弁がありました。  
委員会では、これらの審査の結果、付託議案6件はいずれも原案のとおり認定、可決すべきものと決しました。

## 都市民生委員会

委員会に付託された案件は、議案11件でした。

平成26年度羽生市一般会計歳入歳出決算の審査では、扶助費において「生活保護の扶助費が約4千万円増えているが、主要因を伺いたい。また、このまま行くと次年度もさらに扶助費が増加することになると思うが、その対策についてあわせて伺いたい。」との質疑に対して、「主要因としては、医療費扶助が増加している。その増加の要因としては、高齢者や健康を害している被保護者が多い事が影響しているものと考えている。また、扶助費の抑制については、就労支援員を配置し、自立できそうな方の就労支援を行なっているほか、医療扶助の抑制のため、キーワーカーが指導を行い、

健康づくりや健康管理に努めて行きたいと考えている。さらに国でも推進しているジェネリック医薬品の利用促進を図って行きたい。」との答弁がありました。

次に、平成27年度羽生市一般会計補正予算第3号の審査では、戸籍住民基本台帳費において、「社会保障・税番号制度に伴う通知カード、個人番号カードに係る事務費等の計上だが、実施時期について伺いたい。」との質疑に対して、「いわゆるマイナンバー法が10月5日に施



審査結果を報告する中島委員長

行され、個人番号が記載された通知カードが10月中旬から11月末までに各世帯に送付される予定である。」との答弁がありました。  
委員会では、これらの審査の結果、付託議案11件はいずれも原案のとおり認定、可決すべきものと決しました。

ご意見などを  
編集委員会まで

☎048(561)1121  
(内線)513

《議会だより編集委員会》

委員長	松本敏夫
副委員長	根岸義男
委員	丑久保恒行
委員	永沼正人
委員	中島直樹

9月定例市議会傍聴者数

9月1日	1人
8日	6人
9日	20人
10日	58人
11日	8人
28日	2人
計	95人でした。

常任委員会傍聴者数

9月14日	1人
15日	2人
16日	1人
17日	1人
計	5人でした。